

えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から ⑫

考古学では類似した資料を書くのが、非常に難しく
を採せば、日本全国のごっこ

の遺跡で出土事例がある
のが通例である。しかし、
今回紹介する黒色化した古
式土師器低脚高坏（こしき
はじきていきゃくたかつき）
は、現在のところ、類例が
なく、展示する際に解説文

変化の少ない湿潤な土壌か
ら、弥生時代終末期から古
墳時代初頭にかけての土器
群が、良好な状態で出土し
ている。また、海岸部に暮
らした人々の生活を示す製
塩土器や漁網に付けるおも
り（石錘いせき）もわずかである
が出土している。

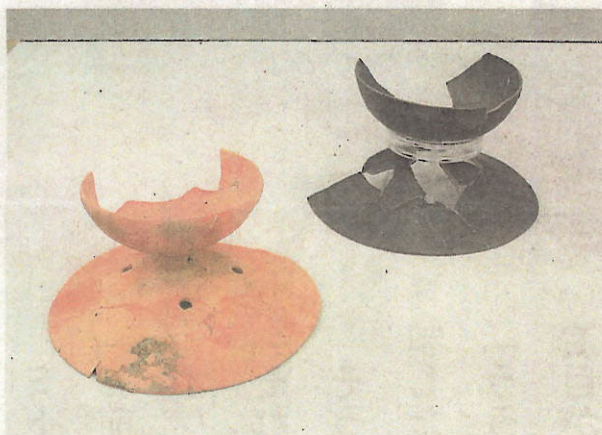
黒色化した古式土師器は
外面にミガキ調整を施し、
非常に精緻に作られた土器
である。自然科学分析の結
果、通常より高温で焼成さ
れたことが指摘されている。

黒色土師器と呼ばれる土師
器が関東地方を中心に出土
しているが、本資料はその
範疇（はんちゆう）には入
らない。何人かの研究者に
聞いたところ、朝鮮半島に
ルーツを持つ焼成技法の可
能性があるという回答を得
た。なお、写真左の黒色化
していない土師器は同じ土
層の約50m離れた場所から
出土したもので、器形はほ
ぼ同じである。

辺は、沖積低地が広がり、
この発掘調査が行われるま
では、遺跡の空白地帯であ
った。調査担当者は、地理
的環境を復元する中で、当
地域周辺は海岸線沿いの堆
積物が形成した浜堤（ひん
てい）の一部であることを
想定している。浜堤に暮ら
した人々が使った土器にこ
のような類例のない土器が
あったと想定される。

類例なし 浜堤で使用か

南吉田南代遺跡の古式土師器



④古式土師器⑤黒色化した古式土師器低脚高坏（古墳時代初頭）—県教育委員会蔵

松山空港近くの本遺跡周

本道路の建設に伴い発掘
調査が行われた部分は、限
られた面積である。今後、
周辺での発掘調査や、国内
の類似した地形のある場所
で同様な土器が発見される
ことを期待したい。日本各
地で発掘調査が行われてい
るが、類例を探ることが難
しい事例、逆に言えば、遺
跡にはまだまだ新しい発見
が眠っているということを知
っていたただければ幸いで
ある。
（専門学芸員・富田尚夫）
◇
紹介した資料は、歴史展
示室1スロット展「松山外
環状道路と遺跡の調査」（
10月上旬）で展示中。
〈随時掲載します〉